

(1) 開会式 学校評議員委嘱 校長挨拶

出席 (学 校) 西村校長、目谷副校長、三條教頭、森教頭、平塚総務部長(全日制)

多田総務・進路部長

(評議員) 矢口吉昭、黒元浩志、岡田理恵 <敬称略>

(2) 委嘱状伝達及び校長挨拶

(3) 学校評議員会開催計画等

(4) 学校概況の説明

- ・全日制 ア 学校概要について(三條教頭)
イ 今年度の教育計画等の説明(平塚総務部長)
- ・定時制 ア 学校概要について(森教頭)
イ 今年度の教育計画等の説明(多田総務・進路部長)

(5) 情報交換・意見交換

【全日制】

- ・矢口評議員：生徒指導の説明があったが、交通安全指導、特に自転車の乗り方には問題があり、指導を強化しなければならないのではないかと考える。
- ・黒元評議員：自転車は車両と同じ扱いである。高校生が自転車に乗り死亡事故を起こし、莫大な損害賠償問題までになっている。警察や交通安全協会と連携した実践的な交通安全指導が必要である。
- ・岡田評議員：自転車マナーだけでなく、挨拶や服装等も含めた地域に愛される滝高生になって欲しい。
(回答)：自転車マナーについては、日頃から苦情をいただいております朝の玄関指導や巡回指導等も行っている。今後は対処療法にならないように、学校だけでなく地域・家庭との連携を図った実効的な指導を行っていききたい。
また、生徒指導全般についても生徒の自主自律は大切にしつつ、教員が常に生徒に問いかけ、関わりのある生徒指導を展開しているところであり、その点についても地域に発信していきたいと考える。
- ・黒元評議員：滝川高校に対する地域からの意見は、滝川高校に対する大きな期待の裏返しでもある。学校の情報発信は、地域の学校への信頼につながっていくと考える。その意味でPR上手になって欲しい。特にHPについては、もっと親しみやすい内容にする等の工夫が必要である。また、学校評議員に対しても学校だよりやPTA広報誌の発行ごとに配布する等、さらに学校の情報を届けて欲しい。
- ・岡田評議員：地域からの信頼を得ることは非常に大切なことである。先生方個々ではなく、学校として地域から信頼を得るためにはどうしたらいいか、ということを考えるべきだ。
- ・矢口評議員：地域からの信頼という観点からいえば、地域のボランティア等に積極的に参加することも大変よいことだと考える。
(回答)：HPや各種たよりだけでなく、学校説明会や中学校訪問等の中で、より戦略的なPRを考えている。評議員に対しても情報を届けることはもちろん、評議員会の中で授業や部活動をみていただくなどの工夫をしていきたい。また、本校はボランティア活動も盛んであり、その点もPRに加えていきたい。
- ・岡田評議員：文部科学省によるSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校の説明があったが、それは理数科のみを対象とするのか。
- ・黒元評議員：かなり大規模な事業になりそうだが、逆にそれをどう活用するのかが、生徒募集にも影響を与えると考えられる。
(回答)：中心は理数科となるが、SS科目・SS特別活動(道外研修や海外研修等)・SS特別授業(全校を対象とした講演等)において普通科も取り込んだ全校的な取組としていきたい。5年間で、約6,000万円の予算がつき、生徒のさまざまな特色ある教育活動に使っていききたい。その際には、「生徒の力をいかに伸ばすのか」という視点を大切に、質の高い教育を保障していくことで地域からの信頼も高めていきたい。

【定時制】

- ・黒元評議員：現在の定時制が果たす役割が時代とともに質的に変化したとしても、その役割の大きさには変わりはない。あたりまえの話だが、定時制も滝川高校であり、全日制ともさらに連携を図り、「定時制をなくさない」ということを第一に考えて欲しい。
 - ・岡田評議員：いろいろな課題を抱えている生徒に対して、少人数だからできる教育をしていただきたい。それが定時制の果たすべき役割だと考える。そのことを地域の方々にPRすることが定時制の存続につながっていくと考える。
- （ 回 答 ）：やはり一番の課題は、「定時制の存続」ということにある。多様な生徒に対応するためには、校内研修を充実させる等、教員一人ひとりの教師力を高めなければならない。

（６）給食指導見学

（７）閉会式 校長挨拶